

●目次 転換期の日本考古学—1945～1965 文献解題—●

はしがき	i
------	---

前 篇

I 日本「植民地」考古学の潮流	3
1 「植民地」朝鮮・台湾・樺太	3
2 「租借地」関東州	7
3 「満洲國」	10
4 「委任統治領」南洋	12
II 転換期の日本考古学—1945～1965—	17
1 戦中の一考古学者の思惑	17
2 昭和20年8月15日の考古学者	19
3 「東亜考古學會」の残照	21
4 往きて還らぬ考古学研究者	25
5 徒花の日本考古学研究所	34
6 日本考古学協会の設立	43
7 忘却の或る考古学研究者	46
8 転換期の考古出版事情	50

後 篇

転換期の考古文献

例言	64
»1945年	65
太平洋の古代文明〔橋津正志〕	65
»1946年	66
原史學序論〔杉原莊介〕	66
考古學入門〔濱田青陵〕	66
日本民族生成論〔清野謙次〕	67
古代日本の漁獵生活—考古學及び化石動植物學上より見たる日本原始漁獵生活の研究—〔直良信夫〕	67
日本農耕文化の起原—考古學上より見たる日本原始農業の研究—〔森本六爾〕	68
地理と古代文化〔藤岡謙二郎〕	68
石造美術と京都〔川勝政太郎〕	68

東亜の古代文化〔梅原末治〕	69
朝鮮古代の文化—朝鮮古蹟調査事業の経過と其の業績を通じて見た半島古代の文化—〔梅原末治〕	69
日本朝鮮比較建築史〔杉山信三〕	70
百濟美術〔輕部慈恩〕	70
蒙疆考古記〔小野勝年・日比野丈夫〕	71
大同石佛藝術論〔長廣敏雄〕	71
萬安北沙城—蒙疆萬安縣北沙城及び懷安漢墓—〔水野清一・岡崎卯一〕	71
東南亞細亞民族學先史學研究 第一卷、第二卷〔鹿野忠雄〕	72
かもしかみち—私の考古學手帳から—〔藤森榮一〕	73
隨筆 三光鳥の鳴く朝〔直良信夫〕	74
秋—科學隨筆—〔直良信夫〕	74
»1947年	75
通論考古學〔濱田青陵〕	75
圖解 先史考古學入門〔甲野 勇〕	75
日本石器時代文化〔八幡一郎〕	76
日本歴史のあけぼの〔清野謙次〕	77
日本古代文化の諸問題—考古學者の對話—〔小林行雄〕	77
日本古代史の考古學的検討〔後藤守一〕	78
日本古代文化の話〔後藤守一〕	79
私たちの考古学(先史時代編)(古墳時代編)〔後藤守一〕	79
たのしい科學 私達の祖先の話〔直良信夫〕	80
古代日本人の食生活〔直良信夫〕	81
池の文化〔末永雅雄〕	81
登呂遺跡〔森 豊〕	81
日本古代社會の葬制〔齋藤 忠〕	82
日本の古墳墓〔梅原末治〕	82
埴輪〔末永雅雄〕	83
梵鐘と古文化〔坪井良平〕	83
上代における大陸文化の影響〔齋藤 忠〕	84
東亜考古學概観〔梅原末治〕	84
朝鮮古文化綜鑑〔梅原末治・藤田亮策〕	85
朝鮮古代の墓制〔梅原末治〕	86
朝鮮佛教美術考〔齋藤 忠〕	86
青陵隨筆〔濱田耕作〕	87
»1948年	88
考古學〔藤田亮策〕	88
日本考古学新講〔大場磐雄〕	89
日本のあけぼの〔樋口清之〕	89
新日本史講座(原始時代)(古代前期)	90

目次

日本歴史學講座〔東大歴史學研究會編〕	91
日本歴史教程(第1冊)〔渡部義通・伊豆公夫・早川二郎・三澤 章〕	92
史前藝術〔大山 柏〕	93
校訂 日本石器時代提要(梅原末治校)〔中谷治宇二郎〕	93
貝塚の話—初めて先史學を學ぶ人々に—〔酒詰仲男〕	94
石器と土器の話〔藤森榮一〕	94
【コラム】文化映画「貝塚」の背景	95
日本の石器〔八幡一郎〕	96
原住民族の遺跡—ハケ岳山麓尖石遺跡の研究—〔宮坂英式〕	96
古代農村の復原—登呂遺蹟研究—〔大場磐雄〕	97
モヨロ遺跡と考古學〔名取武光〕	97
モヨロ貝塚〔児玉作左衛門〕	98
伽藍論攷—佛教考古學の研究 第一—〔石田茂作〕	98
奈良朝寺院の研究〔福山敏男〕	98
法隆寺東院における発掘調査報告書〔國立博物館編〕	99
正倉院ガラス容器の研究〔原田淑人〕	99
京都石造美術の研究〔川勝政太郎〕	99
十三塚考〔柳田國男・堀 一郎〕	100
日本古代と大陸文化〔駒井和愛〕	100
東亜考古學の發達〔水野清一〕	101
朝鮮考古學研究〔藤田亮策〕	101
アジア・民族と文化の形成〔江上波夫〕	101
ユウラシア古代北方文化—匈奴文化論考—〔江上波夫〕	102
中國先史文化〔澄田正一〕	102
唐鏡大觀〔梅原末治編〕	103
原人の發見〔赤堀英三〕	103
古代人の生活技術〔西村正衛〕	104
下野史談 石器時代〔田代黒瀧・川島守一〕	104
神々と知性の戦ひ〔丸茂武重〕	104
【コラム】濱田耕作(青陵)の『希臘紀行』『南歐游記』『百瀛觀音』『橋と塔』	105
»1949年	107
原始社會—考古學的研究—〔ねず・まさし〕	107
新しい日本の歴史(上卷)〔瀨津正志〕	108
古代人骨の研究に基づく日本人種論〔清野謙次ほか〕	108
文化のあけぼの〔駒井和愛〕	109
縄文式文化編年図集(第一回配本)—花輪臺式文化—〔甲野 勇・吉田 格共編〕	109
菊名遺跡と其の文化〔桑山龍進〕	110
登 呂〔日本考古學協會編〕	110
登呂遺跡調査白書〔新日本歴史學會編〕	111

市原遺跡発掘調査概報〔滝口 宏編〕	111
北海道先史学十二講〔米村喜男衛編〕	111
法隆寺の研究史〔村田治郎〕	112
日本古代漁業経済史〔羽原又吉〕	112
寒暖の歴史—日本気候七百年周期説—〔西岡秀雄〕	113
春—科学随筆—〔直良信夫〕	113
世界歴史大系 2 東亜考古学 A・B〔駒井和愛・江上波夫〕	113
»1950年	114
古代史通論 第一分冊〔角田文衛〕	114
考古学の研究法〔斎藤 忠〕	114
日本考古学入門〔原田淑人編〕	115
人類の起源〔清野謙次〕	116
原始時代の生活—太古の人類と文化—〔自然史学会編〕	116
先史美術〔八幡一郎〕	117
縄文文化—特に関東地方を中心として—〔酒詰仲男〕	117
東京近郊石器時代遺跡案内〔吉田 格〕	118
古代土器標本解説書(第二集)—後期・晩期縄文式文化—〔芹沢長介〕	118
琵琶湖底先史土器序説〔小江慶雄〕	119
大和の古墳〔末永雅雄〕	119
モヨロ貝塚資料集〔米村喜男衛〕	119
史蹟手宮古代文字〔小樽市教育課編〕	120
中尊寺と藤原四代—中尊寺學術調査報告—〔朝日新聞社編〕	120
福島縣の古代文化〔梅宮 茂〕	121
群馬縣の古代文化〔川島守一〕	121
先史時代の三浦半島〔赤星直忠〕	121
九州の考古学—九州の大昔—〔田中幸夫〕	122
北九州古文化図鑑(第1輯)〔九州考古学会編〕	122
日本における性神の史的的研究—考古学・民俗学的考察—〔西岡秀雄〕	122
遼陽発見の漢代墳墓〔駒井和愛〕	123
歐洲の四季〔角田文衛〕	123
史跡を訪ねて三十余年〔上田三平〕	124
先史世界への熱情—シュリーマン自叙傳—〔シュリーマン著 村田數之亮譯〕	124
続 石器と土器の話〔藤森榮一〕	124
»1951年	126
考古學辭典〔酒詰仲男・篠遠喜彦・平井尚志共編〕	126
先史発掘入門〔酒詰仲男〕	127
考古学概説〔駒井和愛編〕	127
日本考古學概説〔小林行雄〕	128
新しい考古學—原始時代の人類と文化—〔水野清一監修・自然史学会編〕	129

目次

日本歴史講座(第二卷)原始古代篇・(第八卷)歴史教育篇	129
日本の黎明〔三品彰英・小林行雄・横田健一〕	130
日本人の祖先〔長谷部言人〕	130
北九州古文化圖鑑(第2輯)〔九州考古学会編〕	130
日本古代稲作史雑考〔安藤廣太郎〕	131
曲阜魯城の遺蹟〔駒井和愛〕	131
熊岳城温泉附近遺跡の研究〔澤田四郎作〕	131
考古圖録(新輯)〔京都大学文学部陳列館〕	132
文明の起源(上)(下)〔G・チャイルド著 ねず・まさし譯〕	132
日本考古学年報1〔日本考古学協会編〕	133
史学文献目録 1946～1950〔史学会編〕	133
»1952年	134
國家の生成	134
日本民族〔日本人類學會編〕	134
石器時代の文化—縄文式土器と石器の話—〔吉田 格〕	135
貝塚の話—私たちの祖先の生活—〔直良信夫〕	135
加茂遺跡—千葉縣加茂獨木舟出土遺跡の研究—〔松本信廣・藤田亮策・清水潤三・江坂輝彌〕	136
姥山貝塚〔ジェラード・グロート・篠遠喜彦〕	136
吉胡貝塚	137
美濃の石器時代文化〔小川栄一〕	137
装飾古墳の研究〔斎藤 忠〕	137
日本古墳文化資料綜覧〔斎藤 忠編〕	138
古墳のはなし〔尾崎喜左雄〕	139
上総金鈴塚古墳〔瀧口 宏代表〕	140
アイヌの貝塚〔駒井和愛〕	140
東亜考古學〔駒井和愛〕	140
中国考古学研究〔駒井和愛〕	141
雲岡石窟—西曆五世紀における中国北部仏教寺院の考古学的調査報告—〔水野清一・長廣敏雄〕	141
雲岡の石窟とその時代〔水野清一〕	142
慶 陵—東モンゴリアにおける遼代帝王陵とその壁画に関する考古學的調査報告—〔田村實造・小林行雄〕	143
考古圖編(第十一輯～第二十輯)〔駒井和愛編〕	144
半瓦當の研究〔関野 雄〕	144
福岡縣糸島郡一貴山村田中銚子塚古墳の研究—日本考古学協会古墳調査特別委員会—〔小林行雄〕	145
【コラム】駒井和愛の幻の『考古ノート』	145
»1953年	146
日本史の黎明〔八幡一郎〕	146
日本考古圖録〔東京國立博物館編〕	146
土中の文化—ぼくらの文化財—〔瀧口 宏〕	147
古代の生活〔八幡一郎〕	147

考古學提要—岩手縣を主とする—〔草間俊一・吉田義昭〕	148
縄文土器のはなし〔甲野 勇〕	148
大湯町環状列石	149
大昔の人の生活—瓜郷遺跡の発掘—〔和島誠一〕	149
伊場遺跡—西遠地方に於ける低地性遺跡の研究—〔樋口清之・中川徳治・金子量重・高柳 智〕	149
對馬—玄海における絶島、對馬の考古学的調査—〔水野清一・樋口隆康・岡崎 敬〕	150
島田川—周防島田川流域の遺跡調査研究報告—〔小野忠熙編〕	150
日吉加瀬古墳—白山古墳・第六天古墳調査報告—〔柴田常恵・森 貞成〕	151
静岡賤機山古墳〔後藤守一・斎藤 忠〕	151
武蔵秩父郡和銅の遺趾〔久下 司〕	151
山形県の板碑文化〔川崎浩良〕	152
先史のアジア〔駒井和愛〕	152
中国古鏡の研究〔駒井和愛〕	152
旅順博物館圖録〔杉村勇造・後藤眞太郎編〕	153
古文化の保存と研究〔黒板博士記念會編〕	153
国宝と史跡〔石田茂作監修〕	154
天皇家の歴史—神代より平安朝まで—〔ねずまさし〕	154
ある老学徒の手記—考古学とともに六十年—〔鳥居龍蔵〕	154
発掘入門—野外考古学の話—〔L・ウーリー著 平田 寛訳〕	155
下高井	155
文明の起源〔G・E・スミス著 西村朝日太郎譯〕	156
新日本歴史(先史及び古代)〔新日本歴史學會編〕	156
》1954年	157
古代学序説〔角田文衛〕	157
考古学入門〔駒井和愛〕	158
日本考古学・人類学史〔清野謙次〕	158
【コラム】清野謙次の裏芸三部作	160
日本の古代人〔八幡一郎〕	160
日本旧石器時代の研究〔直良信夫〕	161
貝塚と古墳〔杉原荘介〕	161
日本古墳文化—奴國王の環境—〔原田大六〕	162
江刺郡稻瀬村樺山遺跡調査報告〔江坂輝弥・菊池啓次郎・司東眞雄・渡辺直経〕	162
千網谷戸〔藺田芳雄〕	162
出土古代米〔稲作史研究会編〕	163
登呂 本編(1948～1950)〔日本考古学協會編〕	163
邪馬臺國〔古代史談話會編〕	164
廣島縣古墳綜覧(第一輯)〔広島県立府中高等学校地歴部編〕	164
月の輪教室〔美備郷土文化の会ほか編〕	165
法隆寺と正倉院〔石田茂作〕	165

目次

法隆寺五重塔秘寶の調査〔法隆寺国宝保存委員会編〕	166
無量光院跡	166
三重考古図録〔三重県教育委員会編〕	166
肥後上代文化史〔乙益重隆〕	167
樺太の貝塚〔酒詰仲男〕	167
古代北方文化の研究〔角田文衛〕	167
邯鄲—戦国時代趙都城址の発掘—〔駒井和愛・関野 雄〕	168
考古學の歩み〔ジョルジュ・ドー著 村田數之亮・樋口隆康訳〕	169
歴史学入門〔G・チャイルド著 ねずまさし訳〕	169
日本考古学年報2(昭和24年度)〔日本考古学協会編〕	169
和泉黄金塚古墳〔末永雅雄・島田 暁・森 浩一〕	170
川崎市菅寺尾台瓦塚廃堂址調査報告〔内藤政恒〕	170
»1955年	171
原始社会〔角田文衛〕	171
日本考古学講座〔全7巻〕〔藤田亮策・後藤守一・上原専祿監修〕	171
『日本考古学講座』「月報」	173
日本考古学図鑑〔斎藤 忠〕	173
食物の歴史・衣服の歴史・住居の歴史〔後藤守一〕	174
武蔵野の石器時代〔吉田 格〕	174
甲斐石器時代遺跡遺物発見地名表〔山本壽々雄〕	174
登呂の遺跡—弥生時代の生活—〔駒井和愛〕	175
佐賀県下の支石墓〔佐賀県教育委員会〕	175
空からみた古墳〔末永雅雄編〕	176
平出一長野県宗賀村古代集落遺跡の総合研究—〔平出遺跡調査会編〕	176
大極殿の研究—日本に於ける朝堂院の歴史—〔福山敏男編〕	177
古代研究第二—歴史学研究報告 第三集—	177
立杭窯の研究—技術・生活・人間—〔藪内 清編〕	177
能登—自然・文化・社会—〔九学会連合能登調査委員会編〕	178
落合—新宿区落合遺跡調査報告—〔滝口 宏ほか〕	178
支那古玉圖録〔梅原末治〕	178
古代東方史の再建〔定金右源二〕	179
日本考古学年報3(昭和25年度)〔日本考古学協会編〕	179
日本考古学年報4(昭和26年度)〔日本考古学協会編〕	180
誉田高田貝塚〔学習院高等科史學部〕	180
武蔵野の青石塔婆〔稲村坦元〕	180
祖州城—東蒙古モンチョックアゴラに存する遼代古城址の考古学的歴史学的発掘調査報告—〔島田正郎〕	181
»1956年	182
考古学ものがたり〔大場磐雄〕	182
考古学入門〔三木文雄監修〕	182

縄文・弥生・古墳時代〔斎藤 忠編〕	182
日本歴史講座 第一巻〔歴史學研究會・日本史研究會編〕	183
群馬県岩宿発見の石器文化〔杉原荘介〕	183
樽岸発掘報告書〔市立函館博物館編〕	184
九合洞窟遺跡〔澄田正一・大参義一〕	184
日本古代農業発達史〔直良信夫〕	185
北九州の古代遺跡—墳墓・集落・都城—〔鏡山 猛〕	185
志登支石墓群〔斎藤 忠・鏡山 猛編〕	186
信濃考古綜覧〔信濃史料刊行會編〕	186
甲斐国古墳文化資料綜覧(全)〔山本壽々雄〕	186
常陸鏡塚〔大場磐雄・佐野大和〕	187
埴輪〔角川書店編 大森忠行解説〕	187
岡山県笠岡市高島遺跡調査報告〔坪井清足〕	187
秩父—土師器を中心として—〔玉口時雄〕	188
難波宮址の研究—研究予察報告—	188
国分寺址之研究〔堀井三友〕	189
陵墓要覧〔宮内庁書陵部〕	189
武蔵國板碑集録 第一集〔千々和 實編〕	190
蝦夷〔古代史談話會編〕	190
中國考古學研究〔関野 雄〕	191
古代鋳業史研究〔立川昭二〕	192
帝王と墓と民衆—オリエントのあけぼの—〔三笠宮崇仁〕	192
梅原末治著作目録〔京都大学考古学研究室編〕	192
原始文化史概説〔エム・オ・コスヴェン著 香山陽坪訳〕	193
先史時代の生活〔レーモン・ランティエ著 林 巳奈夫訳〕	193
埋蔵文化財要覧 一〔文化財保護委員會編〕	193
多摩地方の古墳群〔後藤守一・三木文雄〕	194
»1957年	195
神奈川県夏島における縄文文化初頭の貝塚〔杉原荘介・芹沢長介〕	195
尖石〔宮坂英弼〕	195
第二 稲の日本史〔盛永俊太郎編〕	195
北九州支石墓の研究〔松尾禎作〕	196
県下の貝塚と古墳〔石川県考古学研究会編〕	196
広島縣古墳綜覧(第二輯)—古墳村落の復原的研究—〔広島県府中高等学校生徒会地歴部編〕	196
奈良時代僧房の研究—元興寺僧房の復原を中心として—〔奈良国立文化財研究所編〕	197
平城宮跡—朝堂院跡北方地域の調査—〔斎藤 忠編〕	197
膽澤城跡	198
墨書土器 1〔大川 清編〕	198
古鏡〔保坂三郎〕	199

目 次

日本石材工藝史〔川勝政太郎〕	199
阿波板碑の研究—序説—〔沖野舜二〕	200
琉球諸島における倭寇史跡の研究〔稲村賢敷〕	200
中国考古学の旅—訪中考古学視察団報告—〔原田淑人編〕	201
先史時代の宗教—先史時代人の精神性、とくに宗教観念とその実践—〔ヨハネス・マーリンガー〕	201
先史聚英〔ヨハネス・マーリンガー著 鈴木八司訳〕	202
日本考古学年報5(昭和27年度)〔日本考古学協会編〕	202
栗原—セントポール・グリーンハイツ内遺跡発掘調査報告—〈1955～1956〉〔中川成夫・川村喜一編〕	203
上原〔上原遺跡調査会編〕	203
那須八幡塚〔三木文雄・村井嵩雄〕	203
猿投山西南麓古窯址群〔本多静雄〕	204
»1958年	205
民族の起源〔小林行雄〕	205
日本民族の起源—対談と討論—〔石田英一郎・江上波夫・岡 正雄・八幡一郎〕	205
古代の探求—現代の考古学—〔滝口 宏〕	206
日本全史 1 原始〔斎藤 忠〕	206
考古学の調査法〔藤田亮策・清水潤三・桜井清彦・中川成夫・小出義治・大塚初重〕	206
考古学の基本技術〔近藤義郎・檜崎彰一・西川 宏・藤沢長治・横山浩一〕	207
日本石器時代総合文献目録—石器時代文化研究会版—〔岡本 勇・麻生 優編〕	207
世界陶磁全集1(日本古代篇)〔座右寶刊行會編〕	208
弥生式土器集成—「資料編」1・2「本編」1・2—〔小林行雄・杉原莊介編〕	208
大分県国東町 安國寺—弥生式遺跡の調査—〔九州文化総合研究所編〕	209
写真・登呂遺跡〔森 豊〕	209
古墳とその時代(一)(二)—古代史研究 第三・四集—〔古代史談話會編〕	210
はにわ〔三木文雄〕	210
古墳—桜井市古墳総覧—〔小島俊次〕	211
国府の歴史地理学的研究(抄報)〔藤岡謙二郎編〕	211
沖ノ島—宗像神社沖津宮祭祀遺跡—	211
飛鳥寺発掘調査報告〔奈良国立文化財研究所編〕	212
武蔵国分寺古瓦埴文字考〔大川 清〕	212
館址—東北地方における集落址の研究—〔江上波夫・関野 雄・桜井清彦〕	213
五輪塔の起源—五輪塔の早期形式に関する研究論文集—〔藪田嘉一郎編〕	213
能登と加賀の板碑文化〔桜井甚一〕	214
上宝村の先史時代〔大江 命・下形 武〕	214
世界考古学大系(全16巻)	214
共同体の研究(上巻)〔財団法人古代学協会編〕	216
オリエント—遺跡調査の記録—(1956～1957)〔東京大学イラク・イラン遺跡調査団編〕	216
南蛮美術〔西村 貞〕	217
人類学研究 續篇〔小金井良精〕	217

人類と文化の誕生 人類文明史 I〔H・キューン著 角田文衛訳〕	217
歴史のあけぼの〔G・チャイルド著 今来陸郎・武藤 潔訳〕	218
聖書の考古学〔アンドレ・パロ著 波木居斉二・矢島文夫訳〕	218
日本考古学年報 7(昭和 29 年度)〔日本考古学協会編〕	218
館山鉾切洞窟—館山市船越鉾切神社洞窟総合調査報告—〔平野元三郎・金子浩昌編〕	219
刈羽貝塚〔八幡一郎〕	219
»1959 年	220
函解 考古学辞典〔水野清一・小林行雄編〕	220
土の文化〔神林淳雄〕	220
日本貝塚地名表〔酒詰仲男〕	221
音江—北海道環状列石の研究—〔駒井和愛〕	221
日本の土偶〔田枝幹宏・野口義麿〕	222
亀ヶ岡遺蹟—青森県亀ヶ岡低湿地遺蹟の研究—〔清水潤三〕	222
登呂遺蹟〔杉原荘介〕	222
古墳の話〔小林行雄〕	223
難波の宮〔山根徳太郎〕	223
東大寺と国分寺〔石田茂作〕	223
興福寺食堂発掘調査報告	224
土佐の原始と古代の文化—高知県の考古学入門—〔岡本健児〕	224
神居古潭遺蹟発掘報告(昭和 31 年度・昭和 33 年度)	225
河津郷—上河津—〔地方史研究所編〕	225
日本古代の銅鉄の精錬遺蹟に関する研究〔石川恒太郎〕	225
日本のあけぼの—建国と紀元をめぐって—〔三笠宮崇仁編〕	226
先史時代(世界史大系 1)〔八幡一郎・石田英一郎編〕	226
朝鮮磨製石剣の研究〔有光教一〕	227
テル・サラサート I—第二号丘の発掘(1956～1957)—	227
古代文明の開花—人類文明史 II—〔H・キューン著 角田文衛訳〕	228
考古学と聖書〔フレッド H・ホワイト著 村瀬俊夫訳〕	228
ニネヴェとバビロン—続・聖書の考古学—〔アンドレ・パロ著 波木居斉二訳〕	229
埋蔵文化財要覧 二〔文化財保護委員会編〕	229
日本考古学年報 8(昭和 30 年度)〔日本考古学協会編〕	229
金蔵山古墳〔西谷眞治・鎌木義昌〕	230
遠野市附馬牛東禅寺跡発掘調査報告〔板橋 源〕	230
»1960 年	231
日本の古代文化—考古学要説—〔佐野大和〕	231
日本文化のあけぼの〔和歌森太郎編〕	231
図説 世界文化史大系 20(日本 I)〔水野清一編〕	232
日本(1)先史(世界美術全集)〔滝口修造編〕	232
土器とはにわ〔村井崑雄〕	233

目 次

石器時代の日本〔芹沢長介〕	233
立川—北海道磯谷郡蘭越町立川遺跡における無土器文化の発掘調査—〔市立函館博物館編〕	234
土偶〔江坂輝弥〕	234
縄文早期 小瀬が沢洞窟〔中村孝三郎〕	235
横浜市称名寺貝塚発掘調査報告〔吉田 格〕	235
日本農耕文化の生成 第一冊本文篇 第二冊図録篇〔日本考古学協会編〕	235
埴輪考〔金谷克巳〕	236
月の輪古墳—岡山県久米郡柵原町飯岡—〔近藤義郎編〕	236
都市と交通路の歴史地理学的研究	
—わが国律令時代における地方都市及び交通路の歴史地理学的研究の一試論—〔藤岡謙二郎〕	237
川原寺発掘調査報告	237
天平産金遺跡〔伊東信雄〕	237
武蔵國分寺の研究〔石村喜英〕	238
播磨國分寺式瓦の研究—加古川市野口町古大内出土の古瓦—〔今里幾次〕	238
武蔵野を掘る〔甲野 勇〕	239
北海道の先史文化〔石沢 徹・佐藤忠雄・武田輝雄・立花弘路〕	239
板碑考〔小沢国平〕	240
沖縄 八重山〔滝口 宏編〕	240
図説世界文化史大系 1—生活技術の発生—〔八幡一郎編〕	241
蒙古ノイン・ウラ発見の遺物〔梅原末治〕	241
考古学資料目録〔京都大学文学部博物館〕	242
後藤守一先生著作目録〔明治大学考古学研究室編〕	242
新黄土地帯〔松崎寿和〕	243
三味塚古墳—茨城県行方郡玉造町所在—〔斎藤 忠・大塚初重ほか〕	243
»1961年	244
日本縄文石器時代食料総説〔酒詰仲男〕	244
第四 稲の日本史〔盛永俊太郎編〕	244
日本の古墳〔末永雅雄〕	244
古墳時代の研究〔小林行雄〕	245
日本古墳の研究〔斎藤 忠〕	246
桜井茶臼山古墳〔中村春寿・上田宏範〕	246
続 沖ノ島—宗像神社沖津宮祭祀遺跡—	247
天平の地宝〔奈良国立博物館〕	247
陸奥國分寺跡〔陸奥國分寺跡発掘調査委員会(宮城県教育委員会内)編〕	248
南比企窯業遺跡群—その基礎的研究〔1〕—〔久保常晴・高嶋正人・坂詰秀一〕	248
平泉—毛越寺と観自在王院の研究—〔藤島玄治郎編〕	248
日本考古学研究〔金谷克己編〕	249
釣り針の話〔直良信夫〕	249
日本のミイラ〔安藤更生〕	250

アラスカ—明治大学アラスカ学術調査—〔渡辺 操・岡 正雄・杉原荘介編〕	250
アンデスの発掘〔東京大学アンデス地帯学術調査団編〕	250
峠路—その古えを尋ねて—〔直良信夫〕	251
青銅時代〔ジャック・ブリアール著 山口昌男訳〕	251
日本考古学年報9(昭和31年度)〔日本考古学協会編〕	251
三池平古墳〔内藤 晃・大塚初重編〕	252
河内新堂・烏舎寺跡の調査〔大阪府教育委員会編〕	252
弥勒寺遺跡〔大分県教育委員会編〕	252
満鮮原始墳墓の研究〔三上次男〕	253
世界美術全集 日本(2) 飛鳥・白鳳〔福山敏男編〕	253
»1962年	255
日本考古学辞典〔日本考古学協会編〕	255
やさしい考古学〔濱田青陵〕	255
考古学こぼれ話〔樋口清之〕	256
考古学ノート(1～5)〔駒井和愛・八幡一郎監修〕	256
岩波講座 日本歴史1—原始および古代1—〔家永三郎等編〕	257
木内石亭〔斎藤 忠〕	257
古代の技術〔小林行雄〕	258
はにわ誕生—日本古代史の周辺—〔金谷克己〕	258
武蔵伊興〔大場磐雄ほか〕	258
平城宮発掘調査報告Ⅱ—官衙地域の調査—	259
遠江国分寺の研究〔石田茂作〕	259
磐舟—磐舟柵跡推定地調査報告—	259
富山縣の石器と土器〔早川荘作〕	260
東亜古文化論考〔原田淑人〕	260
朝鮮櫛目文土器の研究〔有光教一〕	261
文明の十字路—イラン・アフガニスタン・パキスタン調査の記録—〔京都大学学術調査隊編〕	261
マルヴ・ダシュト I—タル・イ・バクーンの発掘(1956)—〔江上波夫・増田精一編著〕	261
マルヴ・ダシュト II—タル・イ・ギャブの発掘(1959)—〔江上波夫・曾野寿彦編著〕	262
考古学資料図録—井上コレクション—〔井上郷太郎編著〕	262
平凡社 世界教養全集19〔L・ウーリーほか著 平田 寛ほか訳〕	262
日本考古学年報11(昭和33年度)〔日本考古学協会編〕	263
石井〔斎藤 忠・三木文雄・内藤政恒・村井崑雄〕	263
石塔の形式から見た津具盆地〔池上 年〕	264
北海道考古学邦文献目録(第1集)〔松下 亘編〕	264
琉球関係考古学文献目録〔友寄英一郎編〕	264
»1963年	265
発掘—土中に埋もれた歴史の謎—〔樋口清之〕	265
日本の発掘〔斎藤 忠〕	265

目次

日本人の起源〔樋口清之〕	265
瓜郷〔豊橋市教育委員会編〕	266
はにわ〔滝口 宏・久地岡榛雄〕	266
加賀片山津玉造遺跡の研究〔大場磐雄編〕	266
正倉院と東大寺〔石田茂作〕	267
安養寺瓦経の研究〔鎌木義昌編〕	267
熊野新宮経塚の研究〔上野 元・巽 三郎〕	268
日光男体山一山頂遺跡発掘調査報告書一〔日光二荒山神社〕	268
オホーツク海沿岸・知床半島の遺跡(上巻・下巻)〔駒井和愛編〕	269
東海の先史遺跡(総括編)〔紅村 弘〕	269
鎌倉の新鐘一江戸時代一〔赤星直忠〕	270
原始の農耕文化〔木村靖二〕	270
古代の装身具〔斎藤 忠〕	270
古代人の化粧と装身具〔原田淑人〕	271
朝鮮學論考〔藤田亮策〕	271
新中国の考古収穫〔中国科学院考古研究所編著 杉村勇造訳〕	272
ファハリアン I ー タベ・スルヴァンの発掘(1959) ー〔新規矩男・堀内清治編著〕	272
日本考古学年報 6(昭和 28 年度)〔日本考古学協会編〕	273
日本考古学年報 10(昭和 32 年度)〔日本考古学協会編〕	273
日本人の骨〔鈴木 尚〕	273
新潟県佐渡三宮貝塚の研究〔中川成夫編〕	274
上野国八幡観音塚古墳調査報告書〔群馬県教育委員会編〕	274
埋蔵文化財要覧 三〔文化財保護委員会編〕	275
»1964 年	276
考古学の窓一日本古代文化を探る一〔末永雅雄〕	276
発掘一遺跡をして語らせる一〔曾野寿彦〕	276
日本原始美術(全 6 卷)	276
日本考古学の諸問題〔考古学研究会十周年記念論文集編集委員会編〕	278
大分縣丹生遺跡 第一次第二次発掘調査概報〔古代學協會日本旧石器文化研究委員会編〕	279
室谷洞窟〔中村孝三郎・小片 保〕	280
銅鐸〔藤森栄一〕	280
紫雲出一香川県三豊郡詫間町紫雲山弥生式遺跡の研究一〔小林行雄・佐原 真〕	280
古墳の話〔三宅敏之〕	281
装飾古墳〔小林行雄編 藤本四八撮影〕	281
経塚の話〔三宅敏之〕	282
続 古代の技術〔小林行雄〕	282
日本の古印〔木内武男編〕	282
アイヌの墓一考古学からみたアイヌ文化史一〔藤本英夫〕	283
伊豆修善寺町の仏教遺物〔望月董弘〕	283

濃飛両国梵鐘年表〔片野 温〕	284
鎌倉の古鐘	284
キリシタン遺物の研究〔竹村 覚〕	284
雲岡と龍門—中国の石窟美術—〔長廣敏雄〕	285
概説聖書考古学〔G・アーネスト・ライト著 山本七平訳〕	285
文科系文献目録 X VII—考古学編—〔日本学術会議第1部・八幡一郎編〕	286
日本考古学年報12(昭和34年度)〔日本考古学協会編〕	286
会津大塚山古墳〔伊東信雄・伊藤玄三〕	286
»1965年	287
「日本の考古学」〔全7巻〕	287
古代人の生活と環境〔直良信夫〕	290
旧石器の狩人〔藤森栄一〕	290
古墳の発掘〔森 浩一〕	291
古鏡〔小林行雄〕	291
史蹟論攷〔景山春樹〕	291
中世城郭の研究—関東地方に於ける築上遺構の実測とその諸問題—〔小室栄一〕	292
密教法具〔石田茂作・岡崎譲治ほか 奈良国立博物館監修〕	292
奈良県の考古学〔小島俊次〕	293
世界歴史 第一巻—先史の世界—〔有光教一・樋口隆康編〕	293
アジア文化史研究 要説篇〔江上波夫〕	293
楽浪郡治址〔駒井和愛〕	294
殷墟〔梅原末治〕	294
オリエントの遺跡〔東京大学イラク・イラン遺跡調査団編〕	295
デーラマン I—ガレクティ、ラスルカンの発掘(1960)—〔江上波夫・深井晋司・増田精一〕	295
図説 鳥居龍蔵伝〔鳥居博士顕彰会編〕	296
日本考古学年報13(昭和35年度)〔日本考古学協会編〕	296
渥美半島古窯址群〔日本陶磁協会編〕	297
正倉院のガラス〔正倉院事務所編〕	297
日本染織発達史〔角山幸洋〕	297
あとがき	298
書名索引	300
著者索引	307